

報道各社御中 ← 環境省広報室

千葉県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急調査チームによる
調査の結果について
(H26.11.26)

千葉県長生郡長柄町で採取されたカモ類糞便での高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出を受けて、11月23日から25日に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおりその結果をお知らせします。

1 野鳥緊急調査チーム調査結果

- 調査期間：11月23日（日）～25日（火）
- 調査場所：千葉県長生郡長柄町の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内（渡り鳥の飛来地等の計8地点）
- 調査内容：野鳥の飛来状況等を調査
*糞便調査は基本的に実施していない。環境省の鳥インフルエンザ対応マニュアルのとおり、集団渡来地である場合等で環境省が必要と認めた場合に、今回は該当しないため。
- 調査結果：ホシハジロ（リスク種2）の死亡個体1体を回収し簡易検査を実施したところ陰性であった。回収されたホシハジロのスワブ検体については、現在、国立環境研究所で遺伝子検査中であり、検査結果は後日発表予定。他に衰弱個体などの異常は認められなかった

(参考)

観察された鳥類 53種

うち、リスク種1 4種（オシドリ、キンクロハジロ等）

リスク種2 6種（マガモ、ホシハジロ、オオバン等）

リスク種3 7種（カルガモ、コガモ、ヒドリガモ等）

*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、千葉県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成26年11月26日(水)

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

課 長：中島 慶二 (内線6460)

企 画 官：堀内 洋 (内線6470)

専 門 官：根上 泰子 (内線6676)

関東地方環境事務所野生生物課

直 通：048-600-0817

課 長：荒牧 まりさ

専 門 官：鈴木 真野